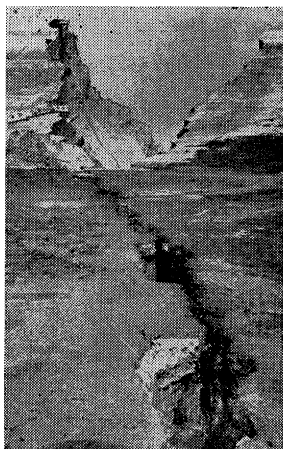


●高層ビルの建設実現へ 建設省は昨年7月、建築基準法の一部改正にともなう（ビルの高さ制限の緩和）安全対策などを検討してきたが、1月8日、その結果を「建築基準法施行令の一部を改正する政令」にまとめ、15日、閣議を経て実施されるはこびとなった。法改正の要旨は都市の中に必要に応じて「容積地区」を建設大臣が指定、高層建築への出発点とさせるもので、この指定は3、4月頃から始まるといわれる。この場合、大都市中心部で「第10種容積地区」に指定されると、延面積が敷地の10倍までのビルの建設が許可される。これは敷地いっぱいを使用して10階建てならば半分使用のときは20階建てが可能であることを意味する。法改正にともない東京都首都整備局は東京都市計画地方審議会の中に「土地利用計画調査特別委員会」を設け実際の作業を始めている。4月実施を目標に最後の仕上げを急いでいるが、容積地区(100~1000%)の計画案として①丸ノ内地区と新宿副都心は900%、②銀座地区は600%、③住宅地帯は最高300%におさえる、④工場地帯は200%以下とするなどの試案をまとめている。世界に冠たる地震国「日本」に技術の力は高層建築の時代をもたらした。このことは少なくとも技術上の成果として喜ぶべきことであろう。

●雑誌「建設者」をみる 新年号で発刊3号めを迎えた山海堂の「建設者」をみる。われわれの生活の場である土木の世界は、その仕事の重要性、および公共性の割合に

ロスアンゼルスでダム欠壊

昨年12月16日、ロスアンゼルス Baldwin Hills 貯水所でダムが欠壊、多くの被害を出した。写真は無事な破壊されたダムを貯水池を内側よりみたものである。(WWP)



に残念ながら広く国民の認識が深いといえる分野ではない。このことは、将来の土木を語るときに、決してプラスではなからう。その原因として、われわれの仕事の性格からくることが考えられるが、一面、PR不足の箇所がなかったとはいえない。この辺の事情から、「建設者」をみると、今日までわれわれとは無縁の世界にいた人々と、この雑誌を通して友人になれる要素を持つものと考えられる。「クロヨン」、「若戸大橋」、「東海道新幹線」など最近の

土木分野の仕事は広く国民に名を知られるものが多い。この良き時期を失することなく、同誌が土木の理解者を一人でも多く増やしてくれることを祈りたい。それが、われわれの明日を明るくしてくれるものと考えられるから。

●ニューヨーク世界博覧会開催せまる 正式名「ニューヨーク世界博覧会 1964~'65年」はニューヨーク市誕生300年を記念して「理解を通して平和を」、「宇宙に広がる人類の業績」をテーマに1964年4月22日から同年10月18日までと、翌年4月21日から10月17日までの2カ年にわたって開催される。世界60カ国（イギリス、フランス、共産圏諸国などは参加しない）が広く産業、文化の粋をきそうわけであるが、その規模、内容とも比類のない、文字通り「国際ショー」になりそうである。4月開催を目標に、日夜建設にはげんでいる会場の話題をひろくと、会期中の入場者予定数は、日本の総人口にも匹敵する8000万人から1億人と言われ、総経費は3600億円と伝えられる。会場は同市東部クィーンズのフラッシング・メドレー、キセナ・コリド両公園で晴海の11倍に相当する約264万 m^2 の面積を誇り、その中に約200あまりの展示館が建設される。わが国からはジェトロ（日本貿易振興会）を中心として、直接経費15億5000万円で国際会場の中心、約8000 m^2 の展示場に3つの展示館を建設する。この博覧会の会場は①産業、②国際、③米連邦および各州、④交通、⑤娯楽の5つの部分に分かれるわけであるが、他の巨大な展示物と比較した場合、日本館が「東洋の日本」を売り物にしても、どの程度の反響が得られるか疑問視されないわけでもなからう。話題にのぼっている巨大な建設物は会場中央にUSスチールの手で建設されている直径約40mのステンレス製の地球儀「ユニスフィア」、GMの「フューチャラマ」（地球の未来像）、電力会社の「タワー オブ ライト」（光りの塔・10億燭光の「光の芸術」といわれる）などである。この中でも「フューチャラマ」は総工費180億円で長さ230m、幅80mの超モダンなビルの中にエスカレーターに乗ったまた見学できる「人類の科学知識と未来」をテーマとするすばらしいものといわれる。現在工事は70%を完成、仕上げ段階に入っているわけであるが、この他に高速道路の整備、25000台収容の大駐車場、ヘリポート、地下鉄車両の整備など話題はつきないようだ。工期が決められ、また、高い技術が要求されるこの工事は主旨、立場、国は異なるが、わが国のオリンピック対策工事とも比較できる立場にある点われわれにとっても関心が深い。